

平成 28 年度第 3 回協働のまちづくり推進委員会議事録

【日 時】平成 28 年 8 月 5 日（金）15 時 30 分から 17 時 00 分

【場 所】市庁本館 3 階 議会第 4 委員会室

【出席委員】江刺家一弘委員、加藤宏明委員、小島慶喜委員、五戸保夫委員、齊藤綾美委員、佐藤博幸委員、田頭順子委員

【事務局】市長、総合政策部長、市民連携推進課職員

次第 1 開 会

次第 2 委嘱状交付

次第 3 市長あいさつ

- ・八戸市協働のまちづくり推進委員会の開催にあたり、一言御挨拶を申し上げます。
- ・本日、委員の皆様には、御多忙の中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・また、この度は、八戸市協働のまちづくり推進委員会の委員をお引き受けいただき、重ねてお礼申し上げます。
- ・さて、本市では、平成 17 年 4 月の八戸市協働のまちづくり基本条例の施行以来、市民、事業者、行政がそれぞれの役割のもと、対等の立場で協力し合う「協働のまちづくり」に積極的に取り組んでおります。
- ・これまで、当委員会の皆様には、協働のまちづくりの推進にあたり、「市民奨励金制度」や「市民提案制度」での審査や評価を始め、協働の施策に関する効果検証など、多大な御尽力をいただいております。
- ・また、本市では、学生の地域貢献活動を促す「学生まちづくり助成金制度」、地域の課題解決や活性化に向けた取り組みを検討段階から支援する「『地域の底力』実践プロジェクト促進事業」等の事業を展開するなど、協働のまちづくりを推進して参りました。
- ・こうした中、平成 29 年 1 月に本市は中核市へ移行いたします。これまで以上にきめ細かな市民サービスの提供や自立的で特色あるまちづくりが可能となることから、市民と行政による「協働のまちづくり」も、一段とその重要性が増すものと考えております。
- ・また、来年は市制施行 88 周年を迎える年でもあり、本市が更なる飛躍を遂げるための新たな段階への第一歩を踏み出す年になります。現在、この記念すべき節目の年を市民の皆様とともに祝うため、市民の皆様と行政が協働で取り組む記念事業の提案を募集しており、委員の皆様には提案事業の審査等において、御協力を賜りたいと考えております。
- ・委員の皆様におかれましては、協働のまちづくりのより一層の推進を図るため、今後 2 年間にわたり、それぞれの知識や経験に基づく幅広い見地から、忌憚のない御意見を賜りますようお願い申し上げます。

次第 4 委員長・副委員長選出

- 委員長及び副委員長の選出を行い、委員長は佐藤委員に、副委員長は齊藤委員に決定した。

次第5 議 事

(1) 協働のまちづくり推進委員会について

○事務局より、資料「協働のまちづくり推進委員会について」に沿って、委員会の概要及び活動計画を説明した。

(2) 協働のまちづくり事業概要について

○事務局より、資料「協働のまちづくり概要」及び資料「市民提案制度」に沿って、協働のまちづくり事業概要を説明した。それに対する質疑応答を行った。

■委員

- ・次の委員会で行われる市民提案制度の選考について費用対効果の項目があると思いますが、費用の概算が示された上での審査となるのでしょうか。過去、費用が出ていないのに審査をしなければならず、困ったという経緯がありました。
- ・また、団体によっては費用が多くかかる場所、少ないところとあるが、同じ基準で審査をするのは難しいです。
- ・委員会で審査が通ったのに金額的に合わなかったということがないようにしたいと考えています。

■事務局

- ・費用対効果に対する考え方は以前と変わってはおりません。
- ・締切が本日なので、提案いただいたものから審査前に事前協議を経ましてその中で事業を絞り、皆さんには費用の概算をお示しできる段階で審査していただこうと思っております。また、事務局といたしましては極力、委員の皆様には費用等において固まっていない状況で審査にはならないように配慮したいと考えております。

(3) その他

○市民提案制度ヒアリング審査及び市制施行 88 周年記念市民提案事業の審査の日程について候補日を決定した。会場等詳細については事務局より後日通知することとした。

○自己紹介並びに当委員会についての意見交換及び市民活動経験について情報交換を実施した。

■委員

- ・委員が審査したものを事務局でとりまとめ、その資料を基に議論していますが、書いてあることについては議論しない傾向があるのでその点も議論したほうがいいのかと思います。
- ・議論する中で事務局より説明があるのでその点はすごく助かっています。

■委員

- ・この委員会でいろんな地域でいろんな人が支えているいろんな活動をしているなどそういうこと、事業に出会えることがとても楽しみです。

- ・膨大な資料を見ながら、どこまで適切な評価、検討がされているか、自分自身が十分に応えていないのかなと感じることは多いのですが、いろんな地域でいろんな活動をしている人の役に立てばいいなと思い、そういう人たちを支援するというのが私は大きな喜びで楽しく仕事をさせてもらっています。
- ・今年はどうな事業ができるのかなと楽しみです。

■委員

- ・当初はよく分からなかったですが、徐々に資料を読み込むに従って見えてくるものがあることに気づき、今は、どれだけ読み込み、評価してあげられるかと思いつつ務めております
- ・今回の任期は前よりも進歩した形でまちづくりをしている方達のサポーターになればと思っています。
- ・また、今年度は88周年の事業も募集されるということでどんな楽しい企画や市民の方が出てくるかなと期待しています。

■委員

- ・地域の実情、ニーズに触れ、この委員会は大変意義のあることだなという思いと任務のバランスに非常に苦労をしてきました。
- ・それともうひとつは、奨励金の審査にあたっては自分の評価が影響を与えることを念頭において襟を正し今回の任期を務めたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

■委員

- ・市民活動している中でもっと若者が市民活動に参加してくるとより魅力ある八戸に変わっていくのではないかと思います、勉強も含め、一市民として御協力できたらという思いで参加させていただきます。

■委員

- ・所属する団体は、市民の皆さんのためにまちづくり、ひとづくりという観点から活動させていただいております。まちはそこに住む人の意識以上によくないという理念や意見等をこちらの委員会に反映できればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

■委員

- ・当委員会は、これまで発言された方がおっしゃるとおり非常に大変な委員会だと感じています。驚くほどの資料が来て、提出期限も短く、その上、コメント欄も多いとあって非常に大変だと思います。
- ・ただ、いろんな団体やいろんな活動、について多く分かり、自分が活動している町内会活動にも活かせる部分も多く、勉強させてもらっています。
- ・非常に大変だとは思いますが2年間一緒に頑張ってもらいたいと思っていますのでよろしくお願い致します。

次第6 閉会